

Mifa



MIFA NEWS

No. 51

6/30. 2009

Moriya International Friendship Association

守谷市国際交流協会広報委員会発行

MIFA連絡先（守谷市国際交流協会担当）

所在地：守谷市大柏950-1 電話：0297-45-1111

URL：http://www.fureai.or.jp/~mifa

MIFA設立20年

原点は「国際交流は市民交流」



守谷市国際交流協会会長 小川 一成

守谷市国際交流協会が発足して20年、長いようでもあり短いようでもあった20年でした。

発足当時は右も左もわからず、会員が手探りで、まさに手作りで協会を作ってまいりました。20年の歩みを振り返ると、よくぞここまでという想いが湧いてまいります。これもひとえに会員の皆さまの献身的な参加とそれを支えてくださった地域の皆さまのおかげがあったからだと改めて感謝を申し上げたいと思います。

MIFAは20周年を機に新たな一歩を歩みだします。「国際交流は市民交流だ」という20年前の原点を忘れず、これからも地域の皆さまとともに歩んでまいりたいと思います。

2008年度主な事業

- 4.14～5.12 英会話初級クラス
- 4.15～23 「21世紀東アジア青少年大交流計画」中国高校生来日（MIFA応接4.17～21）
- 4.19 JICA筑波国際センター一般公開に出展
- 5. 7 ボランティア日本語講師のための研修会
- 5.14～7.16 第40回外国人のための日本語講座
- 5.19～7.7 英会話初級クラス
- 5.25 2008年度MIFA総会
- 6.21 MIFAサロン「中華料理教室」
- 7.14～10.21 英会話初級クラス
- 7.26～27 JICA研修員ホームステイ
- 8.18～27 マインブルク市高校生来市
- 8.23～24 北守谷地区夏祭り出店
- 8.30 きらめき守谷 夢彩都フェスタ2008に出展
- 9 MIFAオリジナルTシャツ作成
- 9.17 日本語講師のためのレベルアップ研修会
- 9.24～11.26 第41回外国人のための日本語講座
- 9.25～10.5 MIFA設立20周年記念 ラオス・ルアンパバン青少年招請
- 9.28 MIFA設立20周年記念事業及び第11回MIFAフェスタ2008「われら地球人」

- 9.28 ニュースレターNo49、No50（20周年記念特集）発行
- 10.11 英語でおしゃべりパート1
- 11. 9 開発教育ワークショップ「コーヒーカップの向こう側に広がる国際交流」
- 11.10～1.26 英会話初級クラス
- 11.17～12.4 JICA青年研修事業・ラオス研修生受け入れ（MIFA応接11.19～28）
- 11.26 青年交流委員会 新入会員歓迎会
- 11.29 「ようこそ守谷へ2008」に出展
- 12.13 イヤーエンドパーティー
- 12.13～14 筑波大学留学生ホームステイ
- 1. 6 青年交流委員会 交流会
- 1.14～3.25 第42回外国人のための日本語講座
- 1.17 ホストファミリー体験しました&したいです
- 1.25～2.4 「21世紀東アジア青少年大交流計画」ラオス空手研修生来日（MIFA応接1.31～2.2）
- 2. 2～3.16 英会話初級クラス
- 2.14 英語でおしゃべりパート2
- 3.25～26 青年交友委員会 合宿
- 3.28 MIFAサロン「マインブルクを知ろう 第2回」
- 3.31 MIFA設立20周年記念誌発行



MIFA設立20周年記念式典 及び 記念事業



ラオス・ルアンプラバン・C.C.Cによる人形劇と踊り

第11回MIFAフェスタ2008「われら地球人」



日 時

2008年9月28日

会 場

守谷市中央公民館



記念式典次第

- 開会の辞
- 実行委員長挨拶
- 国際交流協会会長挨拶
- 来賓挨拶
- 感謝状贈呈
- 祝 辞
- 閉式の辞



感謝状贈呈団体：独立行政法人国際協力機構筑波国際センター・守谷市文化協会茶道部会各流派・若柳流若柳秀寿・野木崎お囃子連・茨城県立守谷高等学校・守谷市立けやき台中学校・ボーイスカウト守谷第一団（ビーバー隊・カブ隊・ボーイ隊）・守谷ロータリークラブ・アサヒビール株式会社茨城工場・守谷市商工会青年部

MIFAフェスタ2008「われら地球人」



秋恒例のMIFAフェスタ。MIFA設立10周年記念事業から始まったフェスタも10年間途切れることなく続けられ、今回で11回目を迎えました。

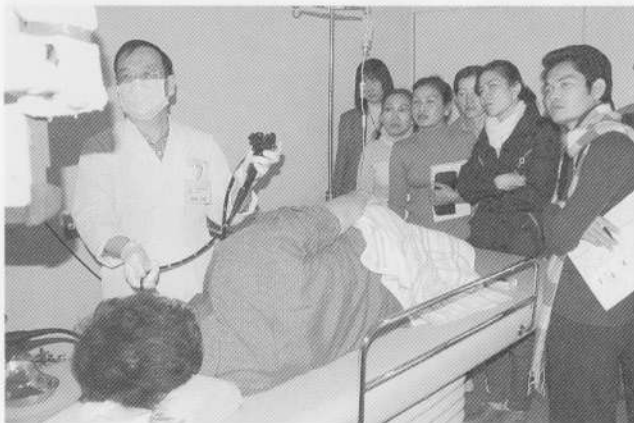
屋外ではもちつき体験や焼きそば・サンドイッチの販売、屋内では箏・折形体験・帯結び展などが行なわれ、舞台上でのパフォーマンスなど例年どおりの交流が行なわれました。

参加国：アゼルバイジャン・バングラディシュ・ベナン・ブルキナファソ・コンゴ・コートジボワール・インドネシア・イラン・レソト・マラウイ・モーリタニア・ミャンマー・ナイジェリア・パキスタン・パプアニューギニア・ルワンダ・スリランカ・シリア・東ティモール・トーゴ・ウガンダ・ウズベキスタン・ベトナム・ジンバブエ・ケニア・ラオス・日本(27カ国)



協力団体：野木崎お囃子連・若柳流若柳秀寿社中・ボーイスカウト守谷第一団・守谷市商工会青年部・箏さくらの会・きものグループ 草道・ボランティアスタッフ・青年の船ボランティアグループ

青年研修事業 — 医療保健コース



守谷慶友病院で内視鏡操作を視察

青年研修事業は、わが国が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、国際協力機構が未来の国造りを担う青年層を対象に、専門分野に関して研修することによって、人材の育成に寄与することを目的とする事業です。

MIFAは、ラオスの医療関係者13人を受け入れ、研修期間の11月17日から12月4日のうち11月19日から28日までを受け持ちました。その間、病院、診療所、保健所、県立医療学校はもとより、市内の小中学校やアサヒビール工場、環境センターなどを案内しました。

特に印象深かったのは研修生の希望で訪れたお寺。敬けんな仏教徒が多いことで知られるラオス人らしく、住職に日本の仏教の教えを聞く姿は真剣そのもので、宗教が生活の一部になっていることに改めて感動を覚えました。

「ようこそ守谷へ」で活動PR



11月29日、常総運動公園で行なわれた「ようこそ守谷へ2008」でMIFAは、活動紹介のために出展しました。興味をもって展示に見入る人も多く、その場で入会した人もいて、貴重なPRの場となりました。

21世紀東アジア青少年 大交流計画 第2弾



4月の中国高校生に続きラオスで空手を学んでいる研修生一行が、1月25日から2月4日まで日本に滞在（守谷市には3泊、うちホームステイ1泊）し、空手の稽古に励み



ました。空手歴は9年の人もいればまだ5カ月の人もいてさまざまですが、一人東南アジア大会男子で3位の人がおり=写真上=、守谷高校を訪問した際には練習着に着替え生徒とともに空手の授業に参加。その所作を披露してくれました。

この大交流計画は、今年10月にタイ高校生らを引き受けることとなります。来年1月にラオスが来日すれば、この人たちも引き受ける予定です。



武道家仲間（守谷高校剣道部）

青年交流 恒例合宿

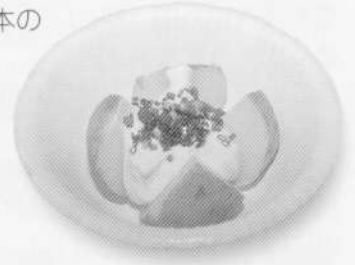


3月25日～26日、白寿荘で青年交流委員会恒例の合宿が行なわれました。2008年度の反省、2009年度の活動内容などが話し合われ、新しいボランティア活動の案が決まりました。

姉妹都市マインブルクのことを知っていますか



3月28日、ログハウスで、MIFAサロン「マインブルクを知ろう（第2回）」が行なわれました。
 DVDでマインブルク市を紹介、沢崎和子さんのドイツリードの後、ドイツ大使館文化部長ゲーリック・ハラルト氏が「ドイツと日本の文化・経済・政治関係」と題して講演を行ない、最後にジャガイモ料理を食べながらの懇親と盛り沢山の内容となりました。



英語でおしゃべり



語学研修委員会の「英語でおしゃべり」が10月11日から始まりました。英語で話すチャンスを少しでも多く持ちたい人、他の人がどんなふうに英語を話さか知りたい人、英語を忘れてしまいそうな人を対象にした新しい事業です。

パート2は2月14日に行なわれ、ゲームや歌の時間も、パート3は4月11日に行なわれました。

また、2009年度からは、「中国語でおしゃべり」や幼児、児童を対象に、英語で歌ったりゲームをする「ABCで遊ぼう」も始まりました。

一年間、お疲れさま

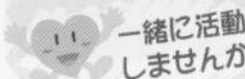


2008年度は、国の委託事業「21世紀東アジア青少年大交流計画」、「青年研修事業」、さらに「MIFA

設立20周年記念事業」と大きな事業が重なり、忙しかったけれど達成感も感じられた一年でした。

12月13日に行なわれたイヤーエンドパーティーは、そんな年の締めくくりにふさわしく、ホームステイにいられた筑波大学留学生や「Welcome to MIFA」の参加者も加わり、賑やかな催しとなりました。

★MIFAの活動に興味を持たれた方へ★



守谷市国際交流協会では、国際交流に興味があり、一緒に活動できる人を募集しています。

加入を希望される方は、下記までご連絡を！

守谷市役所市民協働推進課内（守谷市国際交流協会担当）
 ☎0297-45-1111（内線132）